

## インカレ出場者に対する援助に関して

2024 年 12 月 7 日

2024 年度会計幹事 鈴木絢弓

### ○背景と目的

インカレは全国のハイレベルな選手が集まり、競技の発展や個人の成長、大学間の交流を促進する重要な大会である。しかし、大会が本州で開催されることから北海道の選手には飛行機代や宿泊費などの高額な出費が生じる。したがって、出場者への経済的負担を軽減し、より参加しやすくすることを目的に、昨年度に引き続き北海道支部の全出場者に対して経済的援助を行った。

また、各校への聞き取り調査の結果、大学ごとに学校から支給される援助額に大きな差があることが判明した。さらに、選手によって参加日数も異なることから、昨年度の一律 20,000 円支給の方式を見直し、今年度は実際にかかった費用を区分ごとに分け、該当する額を参加者一人ひとりに分配する方式を採用した。

### ○今年度の援助概要

・援助額の決定方法：

飛行機代 + 宿代 - 学校援助 = A とする。A がどの区分に該当するかによって支給額を決定した。

A	援助額[円]	A	援助額[円]
0 ~ 15,000	10,000	45,000 ~ 48,000	15,500
15,000 ~ 18,000	10,500	48,000 ~ 51,000	16,000
18,000 ~ 21,000	11,000	51,000 ~ 54,000	16,500
21,000 ~ 24,000	11,500	54,000 ~ 57,000	17,000
24,000 ~ 27,000	12,000	57,000 ~ 60,000	17,500
27,000 ~ 30,000	12,500	60,000 ~ 63,000	18,000
30,000 ~ 33,000	13,000	63,000 ~ 66,000	18,500
33,000 ~ 36,000	13,500	66,000 ~ 69,000	19,000
36,000 ~ 39,000	14,000	69,000 ~ 72,000	19,500
39,000 ~ 42,000	14,500	72,000 ~	20,000
42,000 ~ 45,000	15,000		

・対象：インカレに出場し、記録を残した者

・支給方法：大会後に精算し、各校に対し支給（但し、個別の事情に応じて前払いも可）

・合計支給額：236,500 円（北大：129,000 円、学園：47,500 円、道科：40,000 円、医療：20,000 円）

#### ○今年度出場者からの質問・意見

- ・昨年度と比較して出場人数が増加したにも関わらず、より少ない合計金額で効率的に援助を配分できていた点は良かったと感じた。

- ・大学内の参加者間で宿泊日数や料金が異なっていたので、それに応じて援助配分が行われていた点が良かったのではないかと思った。

- ・今回の援助計算で、大会に出場せず観光する日の宿泊費について考慮していたか。

→計算が複雑になりすぎること、レンタカーの定員等によって射場に行けなかった参加者など、すべての状況を正確に把握することが難しいことから考慮せずに援助を計算した。

#### ○議題

- ・来年度以降の援助額等について

来年度以降、出場者に対してインカレ援助をどのように出すか。(今年と同じく飛行機代、宿代、学校からの援助をもとに個別に計算するか、昨年度と同様に一律に戻すか等)